

# えべつの未来づくりミーティング

～ 江別市女性団体協議会編 ～

令和4年5月20日（金） 江別市民会館2階21号室

午前10時～午後0時

## 1 江別市の「強み」「弱み」は

・強みは、柔軟性があること。弱みは、ちょっとつかみどころがないところ。子育てがしやすい、遊び場が充実しているなど、いろいろな良さがあるが、魅力が分散されている。高速道路のインターチェンジが東西にあるので、インターチェンジの近くに魅力をまとめて発信できる場があれば良いのではないかと思う。



・交通手段が少ないことが弱み。今後、自動車を運転できなくなると心配である。江別蔦屋書店の近くで停車するバス路線もない。大きな車両のバスが運行しているが、小さなバスにすれば経費を抑えられるのではないだろうか。巡回型でこまめに回るバスが運行されると良いと思う。また、江別市は特徴が乏しいと思う。国道12号、国道275号が通っているので、広い土地を生かして人を呼ぶものをつくってはどうか。大人も子どもも遊べる、アドベンチャー的な遊び場など。角山にある、アースドリームのようなものが、もう少し江別市の中心部にあると良いと思った。強みは、江別蔦屋書店があること。若い人に人気だが、年配者も刺激を受ける場である。河川防災ステーションにあるエベツ百貨店も、江別市内で生産された商品が安く販売されていて良いと思う。

・江別生まれ、江別育ちなので、江別市外の方から良さを言われて再認識することがある。自然も含めて、普通の生活ができる環境が実は財産だと知った。緑の多さ、川もあり、視界を遮るものがない景色、子どもたちが元気に過ごせる公園の整備も進んでいる。ただ、公園のトイレや水道は、整備が十分ではないと思う。また、美味しいもの、素敵なお店や魅力をアピールする力が弱いと思っている。



・江別市で生まれて、その後しばらく江別市外で生活した後、戻ってきたら、とても発展していてびっくりした。これという特色は乏しいと感じているが、江別市は大好きで、どこかに行くにも、住むにもとても良い環境だと思っている。他の市町村に住んでいる方からも「江別市は良いね」と言われることがある。何が良いのか聞いてみると、行政や福祉、生活環境などが良いと言われる。自分で住んでいるとなかなか気づかない。弱みは、大学生が卒業した後、江別市外に出て行ってしまふことが、残念だと思っている。

・江別市に引っ越して来る前から、江別市は大中小のお店がたくさんあって良いと聞いていた。女性団体協議会で江別市内の様々な施設を見学させてもらい、いろいろな良い所があることを知った。一方、弱みではないが、今後IT化が進むと、自分はIT分野に弱いので、地域包括支援センターなど、人の声で応対してもらえ場所は残してほしいと思っている。10年後どのような時代になるのか、ひとりも取り残されないようになってほしい。

・札幌市の方に、「江別市の子どもはゆったりとしているね」と言われたことがある。自然の中で育っているからかもしれない。子どもたちに会うと、「おはよう」と挨拶し合えるところも強みだと思う。孫を連れて公園に行くことがあるが、いろいろな公園があるので、今日はこの公園、次はあの公園といろいろ行くことができる。ただ、今は自家用車で行くことができるが、自家用車がないと連れていくことがで

きなくなる。ご高齢の方からも、バス路線が減ったので、バスでちょっと行って出かけられるところが少なくなったという声を聞く。行けずに我慢しているという人もいた。バス路線のあり方を、何年かおきに見直してほしい。「ふれあいの滝」がある江別駅前公園（三角公園）は立派で、ライトアップもきれいだが、人がいるのをあまり見たことがない。車がないと行くことが難しいからだと思う。市内の立ち寄りスポットをぐるりと回るバスを定期的に運行してはどうだろうか。

- ・強みは道路や鉄道の交通アクセスが良く、札幌市も近いところ。高速道路のインターチェンジも二つあり、多くの車が通る。一方、市内の公共交通手段が十分ではないと思う。その他の強みとしては、札幌市という大都市が隣にありながら、自然環境が良いこと。イオンタウン江別に江別市子育てひろば「ぽこあ ぽこ」ができて、市外からも遊びに来る人も多いなど、子育て環境も整っている。弱みは札幌市に働きに行ってしまうこと。江別市内に企業が増えず、その結果、江別市の税収が増えない状況にある。
- ・地域包括支援センターの数が少ない割には、支援が徹底していると思う。こまめに活動をされており、伺うと、すぐに対応をしてくれる。雇用の部分は、来年、納豆の製造工場が江別市内に建設されると聞いている。企業誘致も取り組んでいると思う。そのほか、森林公園、四季のみちのほか、イチョウ並木や桜並木、ナナカマドなどの樹木がきれいな景色もたくさんある。江別市の良さをもっとアピールしてほしい。



## 2 10年前と現在の、団体の意識と市民の意識の変化について

- ・女性団体協議会が何とか良い方向へ向かうように役員をはじめ、みんなで活動しており、市民にも認知されつつあるように思う。
- ・自治会の女性部になった方が、女性団体協議会に入ってくることが多い。自治会女性部の任期とともに2年間で女性団体協議会の活動を終える人もいるが、そのまま活動している人もいる。子育ての時期は子どもを通じて人とのつながりがあったが、今は他の自治会の取組も知ることができ、女性団体協議会の活動に生かすことができる。そのような中、自分の意識も変わってきたと思う。自分の自治会の中でどうやって若い人とつながって自治会活動をしていくかが課題である。



・ボランティア活動に参加することで、自分の意識が成長できる場であることを自覚している。教育では受けられない学びもある。家族や孫もいる中で、活動に時間を割くことに迷いもあったが、ボランティア活動は自分の趣味であると思えるようになった。女性団体協議会も、「マンネリ化」が懸念された時期もあったが、みんなからいろいろ提案があり、今は活発に活動している。役員の担い手については、自治会役員に輪番制で参加してもらうようにしたところ、1年で辞める方もいる一方で、そのまま参加する人もおり、参加者の増加や参加意識の変化にもつながったことが良かったと思う。

- ・仕事と活動の両立だが、みんなが支えてくれる。知恵を出し合いながら取り組み、取組が成功すると喜び合っている。地道な活動だが、続けることで女性団体協議会も70周年を迎えている。
- ・人に迷惑をかけないで静かに過ごそうと思っていたが、自治会役員の輪番制で女性団体協議会に参加して（行動が）180度変わった。参加した当初は内向きな性格のため、積極的には参加できないと思うこともあったが、周りの方に背中を押されて、引っ張ってもらって一緒に行動できるようになった。有難いと思っている。
- ・10年前は仲間たちと集うことが楽しく、地域のことを考えたり、ボランティアをする意識はなかった。今は、年代や考え方が違う人と交流することができ、知らないことがあったと知らされて、自らの成長を



感じている。一方、近所に住宅が増えたが、自治会に入らない世帯も多く、自治会を退会した世帯もある。加入を勧めると、役員をやりたいくないので嫌だと言われる。今はいろいろなことに挑戦でき、活動をしていて楽しいので、やってみたら楽しいことを、もっと多くの人に知ってほしいと思う。

・活動の担い手が不足する中で、個々の意識が変わったことで、団体の意識が変わっていると思う。

### 3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

・出産できる産婦人科が少なくなった。今は市立病院のみ。出産できる産婦人科が他になくなったことが、若い母親にとっては不安だと思う。何かあった時に市外の病院まで行くことは、大変だと思う。

・学ぶことが好きなので、生涯学習など、江別市の良いところや、いろいろな施設を知らせるリレー講座などがあれば良いと思う。今もそうだが、目の前の人と安心して接していける、住んでいる人が心のやさしい、穏やかなまちになると良いと思う。

・人を集めるには、ひきつける力が必要。道の駅など、江別市に行ったら楽しめる、もう一度行きたいというところがあれば良いのではないだろうか。町村牧場や菊水の工場もある。「えべチュンランド」もつくってほしい。



・他市に住んでいる時、「江別市は福祉のまちだよ」と言われたことがある。何か一つ、目を引くようなことがあればと思う。羅臼町では、女性団体が石鱈を作るとき、町のマークである魚の形にして販売しているが、江別市も、えべチュンの形の石鱈にするなど、ちょっとしたことでアピールすることができないだろうかと思う。

・江別市で育って、一度市外に転出して後でまた戻ってくるということは、長い目でみると素晴らしいことだと思う。市外に転出して、戻って来たいと思えるような教育が大事なのではないだろうか。

・人の力でしかできないことが、「まちづくり」だと思う。子どもを一人で育てるのではなく、みんなを頼って育て、自分が助けられるようになったら、他の人を助ける、というまちになれば良いのではないだろうか。市役所の窓口も大変だと思うが、いろいろな相談を受け入れてくれるところがあるということは、大きな力になると思う。学校でも、いろいろなことを自分のこととして考える教育をしているが、いつか実を結ぶと思う。ヤングケアラー、児童虐待への対応なども市でされていると思うが、今後もやさしさが伝わる政策にしてほしい。

・JR 江別駅周辺がにぎやかな時期を知っているの、賛同する人が何人かいたら、テレビ番組でやっているような、かくれんぼなど楽しめるイベントができたと思う。

・自分の子どもは皆、市外に住んでいるが、いつか戻って来れるようなまちになってもらいたいと思う。

・子育て世帯の転入も増えているので、活力のある元気な市であるために、転入が継続することを目指すことが大事だと思う。交通の便利さについては、札幌市や北広島市と比べた際のメリットを出していくことが大事であり、産婦人科を増やすことも大事だと思う。住む場所を選ぶ際には、立地だけではなく、地域とのつながりを重要視する人も多いので、江別市が選んでもらえるような市になることが大切だと思う。

